

Q “し尿”ってなんのことだろう？

A し尿は、みんなのうんちやおシッコのことです。

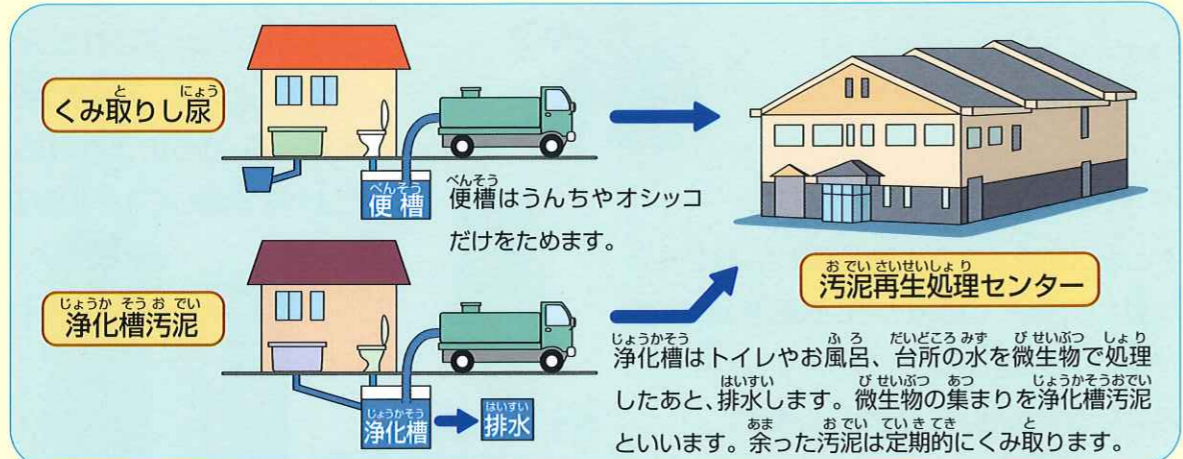
し尿は汚泥再生処理センターや下水処理場できれいな水にして自然に戻します。



Q 汚泥再生処理センターと下水処理場ってちがうの？

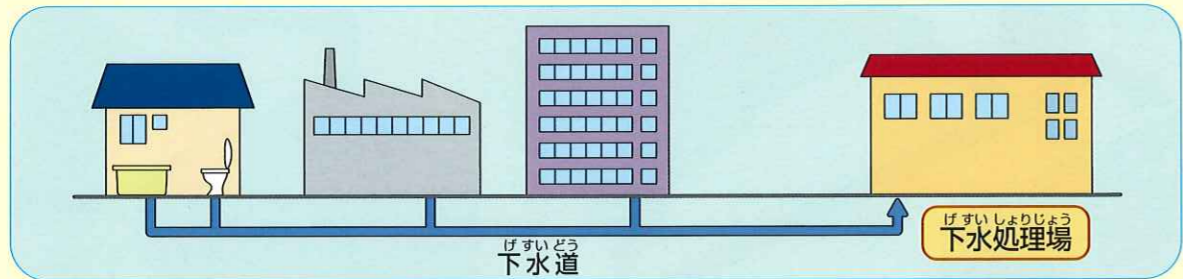
A 汚泥再生処理センターは、家庭のくみ取りし尿と浄化槽汚泥を処理します。

汚泥再生処理センターの場合



下水処理場は、家庭の水洗トイレ、お風呂、台所から出る水と、工場やビルから出る汚れた水を処理します。

下水処理場の場合



Q なぜ“し尿”を処理しなければならないの？

A し尿を川や海に流すと、川や海がよごれて自然がこわされたり、伝染病が広がったりします。そこでし尿を汚泥再生処理センターや下水処理場に集めて、きれいな水にしてから流すことで自然やみんなの生活環境を守っているのです。汚泥再生処理センターや下水処理場はとても大切な施設なんです。

釜石・大槌汚泥再生処理センター

きれいな川や海、さわやかな暮らしをまもるために、いっしょうけんめい、がんばっているんだね。

トイレのうんちやおシッコを
ていねいに処理して
肥料をつくっています。

トイレにたまるし尿（うんちやおシッコ）は、一人1日1.4リットル。みんなの分をあわせれば、スゴイ量になります。そこで私たちの地域では、科学的な処理をして、川や海が汚れないようにしています。また、し尿のもとを役に立つ肥料に再生しています。

釜石大槌地区行政事務組合

し尿(うんちやおシッコ)をきれいな水と肥料に変え、自然にかえしています。



きれいな水に変えるしくみや
肥料のつくりかたを見てみよう

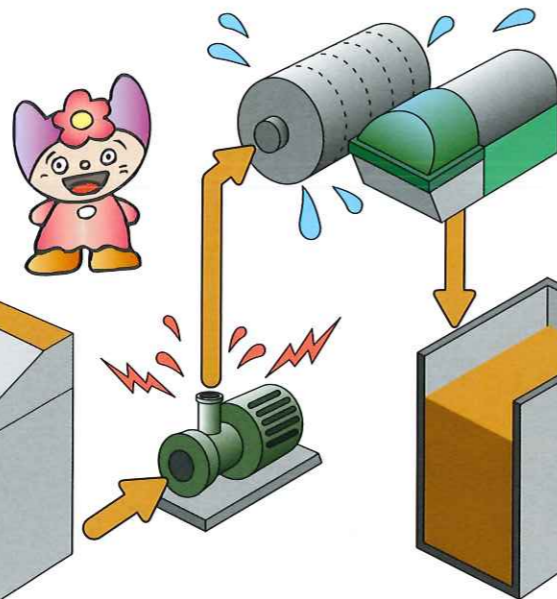
1 量をはかる

運びこんだし尿や浄化槽汚泥の量(重さ)を、大きなはかりで、車ごとはかります。



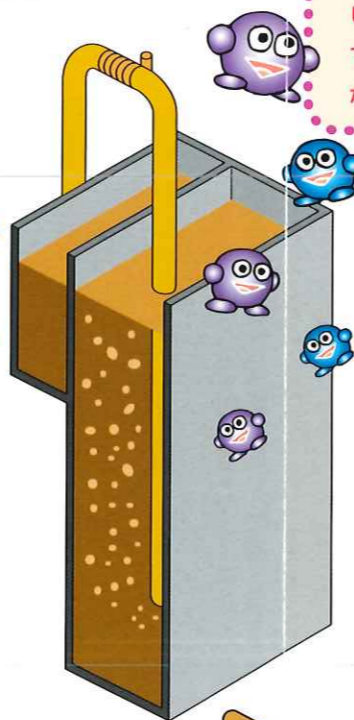
2 ごみなどをとりのぞく

小石やごみ(トイレトーパーなど)は、機械で取り除きます。



3 微生物に食べてもらう

いろいろな種類の微生物に、うんちやおシッコのもと(有機物やアンモニアなど)を食べてもらい、水と窒素ガスなどに分解します。



4 水と汚泥に分ける

水と役目を終えた微生物(汚泥とよびます)が混ざり合っていますから、ろ過膜(水だけが通る小さな孔があいています)と重さの違いなどを利用して、別々にします。

5 水をさらにきれいに

お願い

- トイレにゴミを捨てないで! 機械からみついて、故障の原因になります。
- トイレそうじに薬品を使いすぎないで! し尿などを処理してくれる微生物が死んでしまいます。



水と役目を終えた微生物(汚泥とよびます)が混ざり合っていますから、ろ過膜(水だけが通る小さな孔があいています)と重さの違いなどを利用して、別々にします。

6 汚泥を脱水

分けた汚泥に残っている水分を機械でしぼります。

7 熱を加えて肥料に

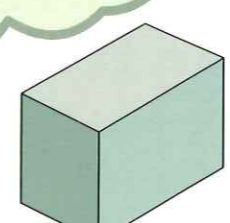
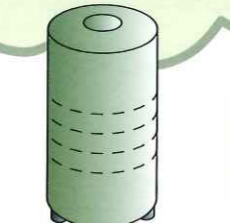
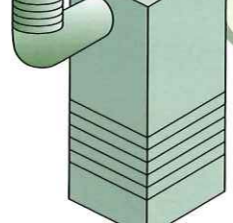
脱水した汚泥を乾燥(160℃ぐらい)して肥料に変えます。

8 袋に詰めてできあがり

できた肥料は自然にやさしい有機質肥料。袋詰めして、農地などに運びます。



〈においは?〉
においが出る場所の空気をファンで吸いこみ、外に出ないようにしています。集めたにおいは、その種類に応じて、微生物や薬品、活性炭でなくします。



施設のあらまし

ある場所…… 金石市甲子町第10地割498番地
処理できる量…… 1日に85キロリットル
(し尿: 67kL、浄化槽汚泥: 17kL、集落排水施設汚泥: 1kL)
施設ができた時…… 平成19年3月
かかった費用…… 24億9千万円